

難病などの研究へのiPS細胞活用について



医療機関

あなたの提供した試料(細胞など)や情報の使われ方

来院



同意書の提出



採血または皮膚採取



診療情報



個人が特定できないよう加工

お名前や、住所、生年月日といったあなたや個人を特定できる情報を個人情報といいます。診療情報から、個人情報を取除き、識別番号を割り当て、直接には誰の情報か分からなくします。

患者さんやご家族に研究についてご説明し、研究に参加していただけるかをご判断いただきます。同意をいただいた場合にのみ、細胞を採らせていただき、一部の診療情報を収集させていただきます。

研究機関



患者さんに頂いた細胞から、iPS細胞を作り(樹立し)、樹立したiPS細胞を神経細胞、筋肉細胞、心筋細胞など目的の細胞へと変化(分化)させます。

iPS細胞を樹立



神経細胞、筋肉細胞、心筋細胞などに分化



研究に利用される診療情報の一部



識別番号で管理し、誰の診療情報かはわからない状態で研究に利用されます。

お名前を複雑な記号に置きかえて管理します

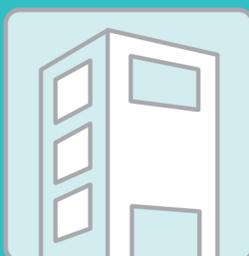
研究に利用するため、あなたの診療情報の一部を研究計画に従って抜き出します。あなたのデータを複雑な記号に置きかえた後、識別番号と個人情報の対応表を保管します。

様々な研究への利用

iPS細胞バンク

〈理化学研究所
バイオリソースセンター
(理研BRC)など

今後さらに研究を進めるために、あなたの皮膚や血液などの細胞と、そこから作製したiPS細胞を、匿名化したあなたのカルテ情報などのデータと一緒に保存し、研究機関に配布する所です。



データベース

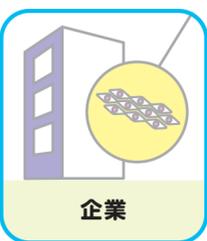
バイオサイエンス・データベースセンター(NBDC)など

研究目的の公的データベースです。この研究で解析された遺伝情報を含む様々なデータを、誰のデータかわからないよう加工して保存し、研究者や企業に提供することで研究を促進します。

国内外の大学や企業

バイオバンクに預けられたiPS細胞は様々な細胞に変化(分化)し、国内だけでなく国外にも渡り、大学や企業などの研究機関で広く使われる予定です。

各病気になる、大学や企業などの研究機関に振り分け



病気の治療法や薬などの開発を目指した研究

iPS細胞から変化(分化)した細胞は、世界中の様々な場所で、病気の解明や治療に関する研究などに使われます。

医療に関する製品の研究



薬の開発



病気の治療法の開発



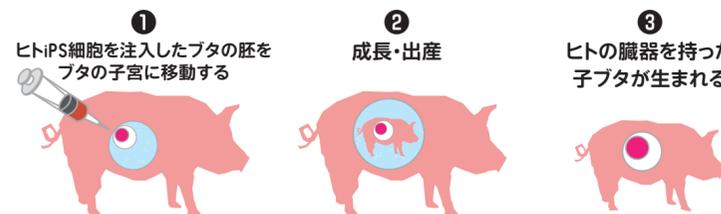
別途、個別に同意をいただいた場合に行う可能性のある研究



CHECK 4
幹細胞や疾患の研究に使う製品(研究用具)の開発・製造

動物性集合胚

動物性集合胚の例: 動物の受精卵にヒトiPS細胞を注入・培養する場合



病気の解明や創薬を目指す



細胞や情報を提供してくださった方に、すぐに新しい治療法が見つかるといった直接的な利益が届くわけではありません。しかし、提供してくださった試料(細胞など)や情報を使って研究を進めることで、将来、病気の診断や予防、治療などの発展につながる可能性があります。